

# 「活用」の力を育てる評価問題

小2 算数  
「ひょう・グラフと時計」

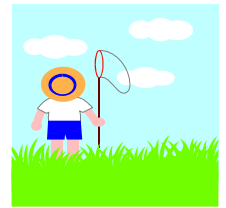
## 評価問題例

単元の流れへ

本時の流れへ

評価の工夫へ

HOME



単元名	ひょう・グラフと ときい (あそびしらべ)		
( )年	( )組	なまえ	

1 まさるさんは、がっきゅうのともだちに、学校で、そだててみたいやさいをききました。

トマト 9人		ピーマン 1人		キュウリ 5人	
	オクラ 2人		サツマイモ 6人		トウモロコシ 7人

(1) ひょうにかいて、そだてたいやさいのしゅるいや人数をせいりしましょう。  
やさいしらべ

しゅるい	トマト					
数 ( )						

(2) Oをつかってグラフにせいりしましょう。  
やさいしらべ

しゅるい	トマト					

(3) 上のひょうやグラフからわかったことやきづいたことをかきましょう。

2 ひょうやOのグラフにまとめるとしたら、あなたは、どんなことをしらべたいですか。

紙面構成上、枠が小さいが、裏面に大きな枠をつくり、記入させる。

この表やグラフの具体的な特徴や、表やグラフにするよさについて、授業を思い出しながら、考えられるように支援する。

係活動や夏休みの自由研究の新聞作り等に活用するなど、児童のイメージを広げるきっかけをつくるための設問である。

## 評価問題のポイント

生活科の学習活動で野菜づくりを計画している学校が多いため、問題の素材として野菜調べを取り上げ、児童のイメージを自分の生活の場に広げることを意識した。

1 (1) (2)では、表やOを使ったグラフをかくことができるか、「表現・処理」の状況を判断することができる。

1 (3)では、これらの表やグラフから分かったことや気付いたことを自由に記述させる。「算数的な考え方」も見取ることができる。解答の枠が3つで足りない場合には、問題用紙の裏に書かせてもよい。

①野菜調べの具体的な数値から分かった特徴（一番希望の多い野菜、少ない野菜など）

②表やグラフにするよさ

などについて、相手に分かりやすい文章で書こうとしているかを見取る。①のグラフや表の特徴については、児童も書きやすいが、②の表やグラフにするよさについては、授業で学んだことを思い出すように支援する必要がある。少なくとも①の評価のポイントは全児童が達成しているように指導する。